



青色申告会の元気企業 歯を作る技術者集団 ワイエムセラミックス

馬場崎町の住宅街にワイエムセラミックスさんの歯科技工所がある。外からは普通の住宅のように見えるが、中に入ると美術室のような、はたまた理科の実験室のような二間続きの作業所があり、スタッフの皆さんは作業机の上で黙々と入れ歯製作などの作業を行っている。

国家資格である歯科技工士は、歯科医の作成し



入れ歯を製作中の松本有司代表

た指示書を基に義歯（入れ歯）や補綴物（差し歯・銀歯）などの製作・加工を行っている。歯科技工士が直接患者さんに会うことはあまりないので、一般の人にはなじみの薄い職業かも知れないが、お世話になったことのない人は少ないだろう。

事業主の松本有司さんは大阪で修行を積み、1993年に境港で開業した。少しずつスタッフを増やし、現在は6人体制。受注は、市内はもとより、

米子、松江、岡山、東京からもあるとのことだが、一方で大手業者も勢力を伸ばしてきている。

受注価格は定価のない自由競争で、売上げは顧客である歯科医院からの受注次第だから、歯科技工所の経営も楽ではない。

世の中の歯科技工士の離職率は3年で50%というのもその影響だろう。

松本さんはスタッフにも売上げを開示し、完全週休2日制を実現するなど職場環境の向上にも配慮している。「考えて真面目に一生懸命仕事をする」が信条で、新しい技術、材料に対応するため常に勉強が欠かせないという。



【事業所のあらまし】

事業所名 ワイエムセラミックス
代表者 松本 有司
所在地 境港市馬場崎町87-2
事業内容 歯科技工所
営業時間 午前9時～午後6時
定休日 土日祝
TEL 42-5053
FAX 42-5053



申告の相談に応じる税理士(左)

境港商工会議所と境港青色申告会は、納税申告期間中の3月1日から3月6日（土・日曜日を除く）までの4日間、青色申告決算個別相談会・青色申告コーナーを実施。

申告や税金相談に対応

青色申告決算個別相談会 青色申告コーナー

歯の色に違和感があったら、やっぱり気になるもの。美術的なセンスも要求される仕事だ。

今まで、歯科医院に行っていたときは、「保険適用の範囲で」とお願いしていたが、色々比較して見せられると、保険適用外のセラミックもありと思えた。歯科医院に行ったときは、その違いを理解して選択することをお勧めしたい。

もお役に立っているものと、自負しています。一方で、もっと多くの会員の皆様に広報や宣伝が必要であることも感じています。

境港商工会議所で、税理士と青色申告会の役員が会員や市民に対して納税や申告手続き、税務相談などを無料で行いました。

また、当青色申告会へのご入会は、事務局（境港商工会議所内・44-1111）で受付中です。ご入会のご連絡をお待ちしています。

この相談会は2003年（平成15年）から毎年この時期に実施。会員や市民の皆様は多少なりと

ができました。現在、この病気に良薬があります。医師の言葉通り、1日1日痛みが和らぎ、色もうすらぎ始めてきました。もうしばらく付き合えば治るのだと思う一方で、時間の過ぎていくことに、情けなさを感じていました。そして、この度のことで改めて自分にも「加齢」という言葉があらはまるのかと思い、気落ちと不安の入りまじる毎日でした。

女性部だより

春一番の出来事

春めいた今日この頃、突然の訪問者がありました。異変に気付いたのは、2、3日前。背中中央に、手にふれる物があつたのです。

病院に行くと、「帯状疱疹」と診断されました。病気とは縁の薄い私には大変ショックでした。「数日、体を休めるように」と指示されましたが、女の私にとっては、とんでもないことだと思いました。

それでも、「仕方がない、病魔と付き合うか」と気分を変えてみましたが、無情な相手は痛みで攻撃してきます。3日3晩の間、激痛に襲われ、鏡をみれば何と、病名通り帯状に背から腹部にかけて赤味を帯びています。「うわっ」と、思わず声

通ううち、頑張ろうと病院を訪れる人々を目の当たりにしました。おかげさまで、この方々にいつしかやる気をもらい、いつまでも気負っている自分を見直す時だと改めて思いました。

早期治療が功を奏したとはいえ、なかなかできない経験です。春一番の出来事でした。

ところで、病院に毎日通ううち、頑張ろうと病院を訪れる人々を目の当たりにしました。おかげさまで、この方々にいつしかやる気をもらい、いつまでも気負っている自分を見直す時だと改めて思いました。

私のはまっているもの

— 公民館 —

公民館とのお付き合いは、もう30年が過ぎました。館長さんが高校生の時の恩師、主事さんが中学生の時の同級生ということもあり、自分の家のように何の気兼ねもなく出入りさせていただきました。

料理、大正琴、ストレッチ、太極拳、ちりめん細工など、次々と参加してきました。そして、たくさんのお友達との出逢いもありました。

また、利用者という立場だけでなく、企画や運営にも参画してきました。一番の思い出は婦人会を設立したこと。多くの方々の応援があったからこそ、設立の当日を迎えられました。公民館が街の中心拠点の発信場所に。このときは、「毎日、出勤簿を押しに來ているね…」と言われるほどでした。

5、6年前から生活習慣病、認知症予防教室の取り組みにも関わるようになりました。今まで公民館で勉強したことを今度は私がお返しする番だと思い、折り紙、踊り、体操など、ボランティア活動で訪問させていただき、皆様と一緒に楽しいひと時を過ごさせていただいています。

人のためではなく、自分の生活習慣病や認知症の予防につながっているのではと、思っている今日この頃です。

(E)